

学び合って分かる授業 蝶屋モデル

学習過程	区切り	教師の指導 ◎重点	指導のための ツール	教師の発問・児童の言葉 ●教師 ●児童
構え	チャイムスタート	○はじめの挨拶		「始めます」教師が見届ける 「起立 （気をつけ）」 今から○限目の授業を始めます 礼 着席」
つかむ 5分	既習の確認	○既習について全員挙手	単元計画、既習 学習用語の掲 示	●前の時間どんな勉強をしましたか？ ・課題は・・・です ・まとめは・・・です ●～は、どんな意味かな？ことかな？（用語の確認）
	課題をつかむ	○既習との違いに気付かせる ◎思考させる課題をつくる	×～しよう ×～考えよう ○どんな・どう して・どのよう に・どうしたら	●今日はどんな勉強をしますか ・～どうして○○になるのかな（理由） ・～するにはどうしたらいいかな（方法） ・～はどうなっているのかな（様子状況） ・～ってどんな○○かな（意味心情） ・～どんなことに～したらいいかな（重点）
	見通しをもつ	○ゴールをイメージさせる	単元計画の掲 示	●今日のゴールは…だね ●みんなで、これを解決しよう
考える 5分 	自力解決 根拠 わけ	◎全員に考えを持たせる ○自分の考えを、結論・根拠・ 理由と順序立てて分かりやす く書かせる	根拠（言葉・文・ 絵・図・表・実 物） ノート指導	●根拠（言葉・文・絵・図・表・実物）をもとに考えましょう ●どこ（どの文や言葉）からわかりますか ・私は～です（結論） ・「～」と書いてありますね（根拠） ・～だからです（わけ） ・～だから、～だと思います。（わけ＋結論）
学び合う 20分 	交流 反応	◎根拠を指し示しながらわけ を説明させる ○反応しながら聴かせる ○わからないことは質問させ る	話型 	●同じ場所で、似ている考えを持った人はいますか ●同じ場所だけど、ちがった考えを持った人はいま すか ●こんなふうに思った場所が、他にもありませんか ●別の場所で考えを持った人はいますか
	深めの発問	○思考を深めるための発問を する	友達 の 考え と の 共通点・違い	●友達 の 考え で いい な と 思 っ た 考 え は あ り ま せ ん か ●いくつにまとめられますか ●どうしてそう思ったのですか ●共通点は何ですか ・○○さんの考えがいいと思います ・私も○○さんと似ていて・・・ ・私は○○さんとちがって・・・ ・3つにまとめられます ～～だからです ・共通点は～ということです
まとめる 15分	課題のまとめ	◎課題に正対したまとめをす る ○活用できる場面を問う	学習用語 活用	●今日の課題はく　　く　　でしたね ●今日の勉強の大事なことは何ですか（キーワード） ・〈〈課題〉〉は、 まとめ ということです ●自分の選んだ作品でも考えられますか ●この問題でも使えるかな（発展問題） ●自分の生活の中でも考えられる場面はあるかな
	ふり返り	○ふりかえりをさせる	自分の変容 友達の良さ	●今日の勉強で思ったことや考えたことは何ですか ・最初はこう思っていたけど、授業をしたらこう思 いました ・○○さんの…の考えでこうわかりました
締め	チャイムで終わる	○終わりの挨拶をする		「終わります」教師が見届ける 「起立 （気をつけ）」 これで○限目の授業を終わります 礼 着席」